

花高野球部通信

発行日

令和7年12月25日

第48号

3年生引退試合

11月5日、花泉運動公園にて一関修紅と引退試合を行いました。

一関修紅の3年生とは1年生大会の時に合同チームを組んだこともあり、選手同士の仲も深い関係です。1年生大会を振り返れば、代表決定戦まで進み、あと一步のところ県大会を逃した思い出もあります。

試合は3年生の菅原聡、菅原成、高橋の三投手で試合をつくり、安定したピッチングを披露。打者としても活躍の場があり、盛り上がる試合となりました。

3年生は全員進路も決定し、次のステージの準備をしています。花高野球部で培った力を発揮してもらいたいです。本当にお疲れさまでした。

いくぞ！関東遠征

3月27日、28日、29日で関東遠征を計画しています。初日は深川高校と合同練習。2日目が深川、城東高校と練習試合。3日目は日体大荏原高校と練習試合を予定しています。関東のチームは都大会前で仕上がっているチームが多いため、花高にとって得るものが大きいゲームとなるでしょう。また、新岡先生が墨田区の中学校に勤務をしていた際、近隣の中学校で指揮を執っていた先生が深川高校で指導していることや、新岡先生の黒沢尻北高校時代の教え子が現在は日体大荏原高校で刻子として指導しています。今回も人の繋がりで実現する遠征ということで感謝の気持ちをもち行って参ります。

野球だけではなく遠征することで、親元を離れての生活や花泉とは違う文化にも触れる良い機会になると考えています。

戦術へのこだわり

戦術とはその名のとおり戦うための「術」であり、その術は多いに越したことはありません。戦う世界では隙を見せると相手に攻め込まれてしまいますが、近年、スポーツの世界も進化し、人間形成にフォーカスするチームも増えてきたため、隙の無いチームが増えてきたようにも感じます。では、どのようにすれば相手の隙をつくりだすことができるかということです。本校では普段相手が練習していないプレーに持ち込むということを念頭に置き、戦術練習をしています。よくある野球の練習としては、シートノック、フリーバッティング、ベースランニングなどです。ランダウンプレーや牽制練習、トリックプレーに対応する守備練習などは日々継続して練習は行わないと考えます。本校は相手が日頃練習していないプレーに意図的に持ち込むことで相手に隙が生まれ、流れをもってくる野球を目指しています。また、「野球の概念を壊す」ということも生徒の思考に植え付けています。一塁を駆け抜けてセーフのランナーがいるとします。本来はその直後、何もない二塁に走り出しません。しかし、ルール上は走ってよいのですから、その瞬間に走ったら、どんなことが起きるかなどを考え戦術をつくりだしています。様々な事を想像しながら、戦術を創造していく。この創造力が野球以外の場でも発揮してくれることを期待したいです。

今シーズンも多大なるご声援 ありがとうございました！！

今年度も春季大会、選手権大会、秋季大会と単独出場を果たしたものの、結果の振るわないシーズンでした。選手たちの力で善戦までは持つて行けたゲームもあったため、指導者として責任を感じています。来シーズンこそ花泉高校が岩手の野球を盛り上げていく存在となるよう、今オフで筋力、技術、創造力の強化に励んでいきます。

今シーズンも多くの方から温かいお言葉や差し入れ等をいただきました。誠にありがとうございます。来シーズンも変わらぬ応援、どうぞよろしくお願いいたします。そして、ともに高校野球を盛り上げていきましょう。

